

お知らせ

東通原子力発電所1・2号機新設に係る 環境監視調査結果（2020年度）について

東京電力ホールディングス㈱では、2007年度より建設工事中の環境監視調査を行っています。なお、東通原子力発電所は2011年1月に着工しましたが、福島第一原子力発電所の事故以降、建設工事を見合わせる事となり、資材の搬出入、建設機器の稼働が著しく少ないことから、2011年度以降「大気質」「騒音」「振動」の環境監視の頻度を見直しております。

また、2020年度につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により一部調査を中止または調査時期の変更を行っております。

2020年度の調査の結果として「大気質」「振動」「水質」につきましては、環境基準・管理目標を満足しておりました。

むつ市（金曲地区）において、騒音レベルが環境基準値をわずかに超えていましたが、工事開始前および過去の調査結果と比較しても大きな変化が認められないことから、工事用資材等の搬出入に係る影響ではないと判断いたしました。

「地形及び地質」「陸域に生育する植物」につきましては2007年度～2019年度と比較した結果、大きな変化はありませんでした。

秋の海域に生育、生息する動植物において例年より出現種類数の減少がみられる。原因の特定は困難であるが、調査時期を10月から11月へ変更したことによる海況の変化等の自然条件に起因するものと考えられます。

以上の結果より、発電所建設工事が周辺環境に与える影響は現時点では小さいものと評価いたしました。

調査結果の詳細につきましては、「東通原子力発電所1・2号機新設に係る環境監視調査結果報告書（2020年度）」として、トントウビレッジ内の原子力情報コーナーにて閲覧が可能です。